

RICOH  
デジタルサイネージ  
お客様導入事例



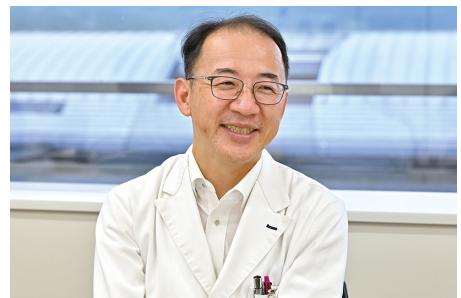
高度急性期病院にリコードデジタルサイネージを導入。患者さんにより心地よい空間と充実した情報をご提供し、患者さん満足度の向上へ。

## 地方独立行政法人 長野市民病院様

- ご導入機種：リコードデジタルサイネージクラウドサービス及び  
RICOH Digital Signage Type2 13台

### Company Profile

- URL : <https://www.hospital.nagano.nagano.jp/>
- 所在地：長野県長野市大字富竹1333番地1
- 概要：市制80周年記念事業選定で市民要望第1位となり建設が決まり、1995年に開院。高度急性期病院として「がん診療」「救急医療」「脳・心臓・血管診療」の3領域を柱に、地域医療の中核を担う。特に、がん治療の実績については県下でも多くあり、「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けている。救急車の搬送台数も5,500台を超え、地域の安心を支える。また、地域包括ケアセンター病棟を設置し、急性期から回復期、在宅復帰まで切れ目のない医療を推進している。
- 職員数：970名（2025年4月1日現在）



地方独立行政法人 長野市民病院  
上席副院長 情報システム室 室長  
草野 義和 様

長野市民病院様は、市民の皆様からの要望を受けて建設された高度急性期病院です。「がん診療」「救急医療」「脳・心臓・血管診療」の3領域を柱に、地域における救急・急性期医療の中核を担われています。その一方で、地域全体で療養生活を支援する地域包括ケアにも力を注ぎ、急性期から回復期、在宅復帰まで切れ目のない医療を提供されています。長野市民病院様では、患者さんにより心地よい空間と充実した情報を提供するために、リコードデジタルサイネージを活用されています。外来エリアの待合ロビーを中心に全13台を導入。各種情報をリコードデジタルサイネージに集約し、紙の掲示物を90%以上削減した結果、院内は今まで以上にすっきりと洗練された印象に。省スペースから以前よりもたくさんの情報を発信できるようになり、各診療科の取り組みから院内イベントの告知、休診のご案内や人間ドックの空き状況まで幅広いコンテンツをタイムリーに展開されています。次々と配信されるコンテンツを眺めながら、リラックスしてお過ごしいただける空間をご提供することで、待ち時間のご負担を軽減。患者さん満足度のさらなる向上につなげています。



中央処置室とブロック受付



第1外来入口

### 導入前の課題

- 掲示物が多い外来エリアの印象を一新したい。
- 患者さんにお知らせしたい情報はたくさんある一方、掲示スペースは限られている。
- 待ち時間のご負担を軽減したい。



### 導入後の効果

- 紙の掲示物が90%以上削減された結果、今まで以上にすっきりと洗練された空間となった。
- 患者さんの往来が多い院内でも、省スペースからたくさんのお情報を配信できる。
- 診察の待ち時間を、様々な情報が得られるより有意義な時間としてお過ごしいただけるようになった。

